



2022年 栽培日記

JA滋賀蒲生町



Vol.5 田植え編

5月から、ハウスで育った苗を生産者の方々にお渡しさせていただきました。
田植え前には、代掻きをします。

代掻きとは

生産者の方々にお渡しする苗箱は、右の図のようにトラックの棚に積み込まれ、引取場所まで運ばれます。



田起こし後に田んぼに水を張り、土を細かく砕いて**田んぼの表面を平らにする作業**です。
代掻きをした田んぼには水が張られているので、蒲生地域の風景も一変します。
代掻きが終われば、いよいよ田植えが始まります。GW中はおおむね天候に恵まれ、
順調に田植えができています。雨の日の田植え作業は、稲苗が傷んだり、田植え機の故障等の原因となるので、
この時期の天気予報には十分に注意して作業しなければいけません！

また、蒲生地区にある各小学校では、食農教育の一環として毎年田植え教室が行われます。JA職員や地域のボランティアの方々が小学生に田植えの仕方を教え、実際に体験してもらっています。

昨年同様、マスクをしながらの田植えでしたが、管内の3小学校全てで開催することができました。秋には稲刈り体験を予定しています。

子どもたちも、自分で植えた苗を収穫する時を楽しみにしている様子でした。

田植え教室の様子



田植え機での田植え見学



田植え後の田んぼの様子

